

日本海洋学会幹事会 2018 年 9 月 25 日

日本海洋学会 2018 年度第 3 回幹事会議事録

日時：2018 年 9 月 25 日（火）18：00～20：30

場所：東京海洋大学品川キャンパス 9 号館 203 号室

出席者：日比谷会長、神田副会長、石坂、市川、伊藤、岡、小埜、川合、北出、東塚、安中、安田、山田、事務局（毎日学術フォーラム：平坂）

議題

1. 議事録（案）承認（北出幹事）

第 2 回幹事会の議事録（案）について確認し、承認された。

2. 審議事項

（1）入退会について（東塚幹事）

2018 年 6 月～7 月の退会者（8 名）と入会者（32 名）を承認した。2018 年 7 月末の会員数は、1,563 名。

（2）シンポジウムの後援・協賛等について（東塚幹事）

後援・協賛等について 7 件の依頼があり、承認された。

（3）募集・推薦等の依頼について（東塚幹事）

公募・推薦について 1 件、シンポジウム・講演等について 4 件、その他 4 件の依頼があり、学会メーリングリストにて配信した旨、報告があった。

（4）次年度以降のガイドライン担当幹事の人選について（小埜幹事）

海洋観測ガイドライン編集委員の交代に際し、次年度の幹事として岡幹事が推薦され承認された。

（5）「海の研究」編集委員会委員の交代について（市川編集委員長）

秋友和典会員に替わり田中潔会員を編集委員とすることが提案され、承認された。

（6）2019 年 SCOR 年会（富山）シンポジウム共催について（東塚幹事）

日本学術会議地球惑星科学委員会 SCOR 分科会山形俊男委員長より、2019 年 SCOR 年会（富山）最終日に実施する共催シンポジウムについて、日本海洋学会幹事会からの企画協力委員の選出依頼があり、川合幹事、安田幹事、安藤幹事を推薦することとなった。

（7）2018 年秋季評議員会議事次第（案）について（東塚幹事）

議事次第（案）について確認がなされ、承認された。

（8）その他：

- ・若手海外渡航支援について（副会長）

1 件の応募があり、承認された。

3. 報告事項

(1) 会長

- ・ 秋季大会の事前申し込み状況について報告された (387 名および企業展示 21 団体)。
- ・ 気象学会とのエール交換記事として、「天気」に投稿を行った。
- ・ 水産・海洋科学研究連絡協議会から発した「白鳳丸の存続・代船についての要望書」に関し、日本プランクトン学会の津田敦会長よりお礼状が届いた。
- ・ 第 11 回海洋立国功労者表彰が 8 月 31 日に実施された。海洋学会からは、「海洋立国日本の推進に関する特別な功績」分野で古谷研会員と新野宏会員が、「海洋に関する顕著な功績」分野で大島慶一郎会員と白山義久会員が受賞した。これらの受賞および受賞に至る背景等について、JOSNL に投稿した。
- ・ 日本技術士会からの講師派遣の件について、高橋一生会員を派遣することとなった。
- ・ 地球観測に関する 23 の学術団体等による今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合リモートセンシング分科会から依頼され、衛星地球観測ミッション公募へ応募することを海洋学会員へ依頼した。応募に際する査読者についても依頼がきたため 2 名の推薦を行った。
- ・ Springer と JO の契約内容について、最終確認を行った。
- ・ 日本学術会議地球惑星科学委員会と JpGU が共同で進行している作業として、地球惑星分野の将来計画作成 (夢ロードマップ 2020 の改訂作業) を依頼された。大気水圏セクションプレジデントの蒲生会員を中心に改訂作業を行い、9 月 11 日に日本学術会議地球惑星科学委員会の藤井良一委員長に提出した。
- ・ 若手支援に関して、武者修行セミナーに 3 名の申し込みがあったこと、若手集会在滋賀で開催されたことが報告された。応募者の減少や返金が多いことなどを踏まえ、秋季大会中に若手研究者で、若手集会の現状と今後の進め方等について議論することとなっている。
- ・ 9 月 14 日に「本年の北海道胆振東部地震、西日本豪雨災害、台風 21 号により被災された方々へのお見舞い」をメーリングリストに配信した。
- ・ JpGU 2019 年大会の日程 (5 月 26~30 日、幕張) が決定したこと、セッション提案募集が 9 月 3 日~10 月 12 日、セッションリスト公開が 11 月 21 日、投稿受付が 1 月 8 日~2 月 19 日であることが報告された。
- ・ 第 27 回 IUGG が 7 月 8~18 日に、カナダのモントリオールで開催されること、100 周年記念のイベントが行われること、10 月 1 日に First Circular が発信されること、IUGG 開催中にアルベール 1 世のメダル授与式があり、受賞者の推薦が 10 月 6 日までであること、要旨投稿が 10 月 1 日から 2 月 18 日までであること、早期登録が 10 月 1 日から 4 月 1 日までであること、登録料は未定であることが報告された。
- ・ AOGS で、各賞 Nomination Committee のウェブサイトが開設され、9 月 4 日から 12 月 18 日まで受け付けていることが報告された。

(2) 副会長

- ・ 秋季大会開催中 (9 月 27 日 (木) 17:30~18:00) に若手会員と学会執行部の懇談会を開催予定であることが報告された。
- ・ 秋季大会実行委員会より、若手優秀発表賞の審査委員について幹事会に依頼があった。

(3) 庶務 (東塚幹事・岡幹事)

- ・JpGU2018 (2018 年度春季大会) に関するアンケート集計結果について報告があった。
- ・今回の秋季大会についても終了後にアンケートを実施することとなった。

(4) 会計 (安田幹事)

- ・2017 年度秋季大会実行委員会から学会への寄付金が追加される旨の報告があった。

(5) 研究発表 (山田幹事)

2018 年度春季大会 (JpGU2018 内で開催) が無事終了した件、2018 年度秋季大会が無事に始まった件、2019 年度春季大会から 2021 年度春季大会の予定について報告された。

(6) 選挙 (安田幹事)

2018 年度の選挙について、9 月 3 日に、会員名簿への同封、メーリングリストおよびウェブサイトでの周知により、予定通り選挙公示を行ったことが報告された。

(7) 編集

1) JO (石坂編集委員長)

①JO の発行状況 (Vol.72 (1) ~Vol.74 (3))、②JO 投稿・受理状況、③転載申請、④掲載料について報告があった。

2) 海の研究 (市川幹事)

①前回幹事会 (7 月 25 日) 以降の出版状況、②2018 年度 10 月以降の出版計画、③投稿論文状況、④転載許諾申請、⑤J-STAGE での公開、⑥その他 (指導教員による学生の研究成果の論文投稿について) について報告があった。

3) ニュースレター (会長)

①JOS ニュースレター発行状況 (vol.8(2))、②JOS ニュースレター発行準備状況 (vol.8(3))、③編集委員の退任、④その他 (バーター記事としての他学会紹介) について報告があった。

(8) 広報委員会 (小埜幹事)

- ・新パンフレットの配布を開始した件について報告された。
- ・秋季大会会期中の広報委員会の活動として、出前授業の情報交換会、ナイトセッション「海洋学を活かせる進路について」、海洋研究者の座談会「無意識のバイアスについて考える」の実施について、報告された。
- ・秋季大会のプレスリリースを行い、NHK からの取材も決まったことが報告された。

(9) 海洋環境委員会 (小埜幹事)

青い海助成基金によるワークショップ「海洋酸性化問題と二酸化炭素回収貯留 (CCS) 技術」が本日 9 月 25 日に開催されたことが報告された。

(10) 海洋観測ガイドライン編集委員会 (小埜幹事)

- ・秋季大会会期中、9 月 26 日のセッションの中で海洋観測ガイドラインに関する口頭発表を実施することが報告された。

- ・ 秋季大会会期中、9 月 28 日に委員会を実施し、委員の交代および様々な業界団体への広報の日程について話し合う予定であることが報告された。

(1 1) 海洋環境問題研究会 (小笠幹事)

明日 9 月 26 日の評議員会において、会則の変更 (メールによる臨時総会の開催に関する規則制定に関連) について審議を行う予定であることが報告された。

(1 2) 教育問題研究会 (伊藤幹事)

2018 年度前期の活動報告 9 件および 2018 年度後期の活動予定がなされた。

(1 3) ブレークスルー研究会 (岡幹事)

「クラウドファンディングによる次世代育成のための研修プログラム」について、9 月 15~17 日に無事終了したこと、今後の方向性について明日 9 月 26 日にブレークスルー研究会の懇談会で話し合うことが報告された。

(1 4) 海洋生物学研究会 (伊藤幹事)

メーリングリストでメール審議を実施し、来年度以降の体制について、杉崎会長に再任いただくことになったことが報告された。

(1 5) 日本地球惑星科学連合 (川合幹事)

- ・ JpGU2019 大会に関して、現在セッション提案中であり、10 月 12 日が締め切りであること、学会共催希望は今のところ 3 件のみであること、海洋学会のセッションについて (物理一般、生物・化学一般) 相談したいこと、案内を JOSNL に投稿したこと、EJ セッションが廃止され E か J になったこと、投稿規定とプライバシーポリシーが改訂されたこと、実行委員は川合幹事、東塚幹事、山田幹事、北出幹事で実施すること、JpGU は 2020 年に AGU と合同大会を実施することが報告された。
- ・ 夢ロードマップに関して、9 月 11 日に改訂版が提出されたこと、今後のスケジュールとして、10 月に他分野との意見交換後に整合性のある資料への改訂調整、12 月に地球惑星分野全体のロードマップ作製、12 月末に地球惑星科学委員会および JpGU の了承したロードマップの確定、それ以降に学術会議の報告として発表の予定であることが報告された。

(1 6) 震災対応 (小笠幹事)

JpGU の環境災害対応委員について、日本海洋学会から「環境対応委員 1 名」もしくは「防災対応委員 1 名と環境災害対応委員 1 名」の選任の依頼が来ていることについて、升本会員に人選を相談し、メール審議することとなった。

(1 7) 水産・海洋科学研究連絡協議会 (伊藤幹事)

- ・ 「白鳳丸の存続・代船についての要望書」に関しては、6 月 28 日に提出されたことが報告された。
- ・ 日本学術会議主催公開シンポジウム「2050 年の水産資源を日本の食卓から考える」の予定について報告があった。

(18) 「一家に一枚」ポスター企画 (伊藤幹事)

9 月 20 日に文部科学省にて、外部有識者の委員会へプレゼンを実施したことが報告された。

(19) その他

・男女共同参画 (安中幹事)

8 月 24 日に運営会議があり、負担金の値上げについて全会一致で承認されたこと、10 月 13 日に開催される男女共同参画学協会連絡会シンポジウムに参加予定し、参加報告を JOSNL に投稿予定であることが報告された。

・プライバシーポリシーの改訂について (市川幹事)

個人情報保護規則の制定について提案がされた。

・国際海洋リテラシー調査への協力について (市川幹事)

国際海洋リテラシー調査の日本国内での推進について協力依頼があり、これを受けた件について報告された。

・沿岸海洋研究会 (北出幹事)

9 月 25 日昼に事業部会、シンポジウムの後に委員会が開催されて、次回のシンポジウムについての議論、沿岸海洋研究のオンラインジャーナル化に関する議論がなされているとの報告があった。

・特別イベント：「GOOS に関連する情報共有のための集会」の件 (北出幹事)

秋季大会会期中、9 月 27 日の受賞記念講演後に実施予定の特別イベント (話題提供者：須賀利雄 (東北大)：GOOS 運営委員会委員、IOC 協力推進委員会 海洋観測・気候変動専門部会 主査) について説明があった。

以上

次回幹事会

日時：未定

場所：未定